

【議会報告会報告書】（地区・山の手台）担当：1班

- ・開催日時：平成31年2月17日（日） 午後7時～午後8時10分
- ・場所：山の手台老人憩の家 参加者数：3人（男3人・女0人）、
- ・担当議員名：河合弘樹（挨拶担当）、浦川佳浩（報告担当）、渡辺豊子（司会担当）
坂上巳生男（記録担当）、服部脩二（欠席）

～質疑応答・意見交換における主な発言～

（質問）談合の損害賠償額が52%とあるが、なぜもっと回収できないのか。

（回答）相手方の企業が倒産など、回収不能であることも多い。また、資産調査についての強制力が町にはなく、差し押さえも困難な状態。すでに全額支払った企業や、分割納入している企業もあるが、未払い業者、個人からの回収は困難。

（質問）熊取町はふるさと納税の返礼品は、30%の率や地場産品のルールを守っているのか。

（回答）50%近い率のものや、旅行クーポンなど地場産品と関係ない商品もある。国の指導により新年度から改正されるが、現在は駆け込みで寄付が増えている。

（質問）泉佐野市は、学校のプール建設などふるさと寄付を有効活用している。熊取も憩いの家の耐震改修や建て替えなどに使えないのか。

（回答）議会としても、有効活用は求めている。憩いの家の改修にも使えるが、基金の使い道はこれから検討していく。

（質問）平成29年5月にも質問したことだが、町は1次避難所を小学校に指定している。山の手台により近い熊取中学校を1次避難所に指定できないか。

（回答）中学校は、状況に応じて避難所に指定されることになっている。

（質問）最初から避難所に指定できないものか。

（回答）中央小学校と熊中が近いので、まずは小学校を避難所としている。必要であれば熊中も避難所として開設するようになっている。

（質問）地域で防災訓練するにも、小学校では遠すぎる。

（回答）町は地区単位の防災訓練に力を入れている。つばさが丘など自主防災の訓練が増えてきている。各地区で、実施して頂いている。